

秋シーズン第5戦。大阪体育大学は春に対戦し、勝利した相手。シーズン開幕以降敗戦が続き、まだ白星がない阪大はなんとしても今シーズン初勝利を取りたい。



1Q

大体大のキックにより試合開始。自陣 21yds より阪大の攻撃開始。阪大 O#はランとパスで着実に 1stdown を更新していく。4 回生 QB#6 渡辺が自らボールを持って 17yds を走り、敵陣 31yds まで前進。さらに、敵陣 20yds の地点から 4 回生 RB#24 坂本の 18yds のナイスキャリーにより一気に G 前 2yds まで到達。そのまま RB#24 坂本が GL に飛び込み、TD！ 2 回生 K#16 森が TFP のキックを成功させ、7-0。阪大のキックにより試合再開。阪大 D#は 2 回生 DL#97 上田のタックルなどにより、大体大 O#の攻撃を必死に食い止め、パントを選択させる。阪大 O#はなんとか追加点を得て得点差を広げたい。しかし、阪大 O#はランとパスでゲインを試みるも、思うようにゲインすることができず、パントを選択して攻撃権が大体大に移り、第 1Q 終了。



2Q

敵陣 31yds から大体大の攻撃が再開。阪大 D#が奮闘するも大体大 O#に、ロングゲインを重ねられ、自陣 19yds まで攻め入られる。4 回生 DL#99 西川のタックルにより 2yds ロスを奪うことに成功。大体大 O#は自陣 21yds 地点で FG を選択。キックを決められ、7-3。大体大のキックにより試合再開。阪大 O#はランとパスを成功させるが、思うようにゲインできずパントを選択。4 回生 P#11 長谷川のナイスパントにより大体大 O#は敵陣 28yds から攻撃開始。直後、31yds のランを許してしまう。DL#97 上田の QB サックもあったが、大体大 O#に自陣 29yds から TD パスを決められる。TFP のキックも決められ、7-10。大体大のキックで試合再開。阪大 O#は自陣 22yds から攻撃を再開するもここで前半終了。



3Q

阪大のキックにより試合再開。1回生 K#8 橋野 が敵陣深くにボールを蹴り込み、大体大 O#は敵陣 28yds から攻撃開始。大体大 O#はランやパスで 1stdown 更新を目指す、3回生 DB#30 稲生のパスカットなどによりパントを選択。攻撃権は阪大へ。このシリーズで TD をとり、なんとかしてでも逆転したい阪大。ランとパスにより 1stdown を更新する。しかし、3rd down 4 の場面で阪大にパスインターフェアの反則があり、15yds の罰退。ランで 1stdown 更新を試みるも思うようにゲインできず、阪大 O#はパントを選択。大体大 O#もランでゲインを重ねるが 1stdown 更新までは行かず、パントを選択。阪大 O#はランで 1stdown を更新するが、フォルススタートの反則と QB サックにより 4th down 19。パントを選択。その後も両チーム追加点を得られないまま第 3Q が終了。



4Q

開始早々大体大 O#に 22yds のランを許してしまう。その後もランとパスで 1stdown 更新を試みるが阪大 D#がこれを阻み、大体大 O#はパントを選択。阪大 O#は自陣 12yds から反撃開始。阪大 O#は 4th down 2 の場面でギャンプルを選択し、RB#24 坂本のランにより 1stdown を更新する。自陣 31yds 地点で QB#6 渡辺 から 3回生 WR#13 柴山 に 31yds のロングパスが成功し、そのまま GL まで独走して TD！その後の TFP も K#16 森 が確実に決め、14-10。ついに逆転に成功する。その後、大体大 O#にランにより着実にゲインを重ねられる。さらに、29yds のロングパスにより、試合終了まで 1:40 のところで自陣 5yds まで攻め入られる。ここはなんとかしても止めたい阪大 D#。4回生 LB#43 二神 と 1回生 DB#7 佐々木のタックルにより、自陣 9yds まで後退させることに成功。4th down 14 の場面で放たれたパスを阪大 D#がしのぎ、試合終了。14-10 で勝利した。



初白星を挙げることができたが、まだまだ課題が残る試合だった。次の対戦校は大阪教育大学。昨シーズン圧倒的な強さで 3 部を制し 2 部に昇格し、過去に 1 部でプレーしていた経験もある強豪校だ。各々が課題に真摯に取り組み、日々ベストを尽くして、次節も勝利をつかみ取りたい。BE ONE.